

第二次佐久市総合計画 前期基本計画

平成 3 0 年度進行管理第 3 部会資料

第 4 章

施策評価シートの見方

策定時における施策毎の目標設定、平成30年度のアンケートの結果による満足度指数が記載されます。

施策名 「**幼児教育**」 ※保育所関係施策は第4号「**子育て支援・児童福祉**」に記載されます

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.21 → 3.25</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.32</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.13</td> </tr> <tr> <td>平成25年</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.21</td> </tr> <tr> <td>平成27年</td> <td>3.32</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.13	平成25年	3.04	平成26年	3.21	平成27年	3.32
年度	満足度指数											
平成24年	3.13											
平成25年	3.04											
平成26年	3.21											
平成27年	3.32											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は平成26年に下降したが、平成28年には0.17上昇した。これは平成27年に信州型やまほいく認定制度の認定を受け自然を生かした教育・保育の充実を図ったことや、平成28年度より第3子保育料の無料化を行ったことなどによるものと考えられる。 今後も地域の自然を生かした教育、やまほいくの推進を図るなど、幼児教育の充実を図ることにより、上昇した満足度を維持するとともに5年間で0.04の上昇を目指す。</p>												

施策毎の主な事業の進捗状況が記載されています。

<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園[*]の設置を検討する事業者の情報提供等支援を行いこども園に移行しました(浅科幼稚園)。 ※認定こども園:「就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能(地域における子育て支援を行う機能)を備え、認定基準を満たし、都道府県知事から認定を受けた施設(幼稚園と保育園の両方の機能を持った施設) ・私立幼稚園の運営に対してを補助を実施しました。 <p>実績:市内私立幼稚園6園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猛暑時における園児の健康を守るため、私立幼稚園の保育室補助金の交付要綱を策定しました(令和元年度より3年間の補助)
------------------	--

施策毎の課題が記載されています。

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度より幼児教育と保育を一体的に進める子ども・子育て新制度がスタートしたが、市内の私立幼稚園では、認定こども園に移行したのは1園となっており、制度の周知、情報提供などの支援を行う必要があります。 ・幼児教育無償化により、ニーズの多様化、事務の増大、手続きの煩雑化が予想されることから、子ども・子育て新制度への移行、連携の強化、円滑な事務手続き手法の構築が求められています。
-----------	--

施策毎の今後の方針が記載されています。

<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内私立幼稚園の安定的な運営のため、幼児教育無償化後の事務(子ども・子育て支援新制度移行に関する相談など、引き続き支援します。 ・市内私立幼稚園園長会との会議を開催し意見交換を行うなど、私立幼稚園と連携を図ることにより、子ども・子育て新制度への移行や施設整備など私立幼稚園の運営を支援します。 ・私立幼稚園の保育室への冷房設備設置事業に対し補助を実施します。
<p>担当課</p>	<p>子育て支援課</p>

第4章 豊かな暮らしを育む健康長寿のまち

健康であることは、一人ひとりが質の高い暮らしを営むとともに、生産年齢人口が急速に減少する中で地域社会、地域経済を健康な高齢者が支えるために必要不可欠であることから、引き続き健康長寿のまちづくりを目指します。

出生から、乳幼児期、就学期、就労期、高齢期までのライフステージの違いや、病気や障がいの違いに応じて、保健、医療、介護、福祉が連携して必要な支援を行い、誰もが安心して、質の高い暮らしを営むことができるまちづくりを目指します。

特に、人口減少克服のために、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援により、安心して出産、子育てができるまちづくりを目指します。

1 生涯にわたる健康づくりの推進

施策名 「健康増進」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標（市民アンケートによる満足度指数）</p> <p>現状値（H28） 3.32 → 目標値（H33） 3.33</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>3.29</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.31</td> </tr> <tr> <td>平成28年</td> <td>3.32</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.29</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.25	平成26年	3.31	平成28年	3.32	平成30年	3.29
年度	満足度指数											
平成24年	3.25											
平成26年	3.31											
平成28年	3.32											
平成30年	3.29											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、他の施策と比べても高い値を維持している。引き続き保健補導員や、食生活改善推進委員など、地域に根差す健康の担い手を地道に養成し、満足度の維持、向上を目指す。目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.33とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健補導員の地区自主活動を全ての地区において実施しました。 ・健康長寿のブランド化推進において、市民モニターを募集し、歩行計測器を用いた健康増進調査を実施しました。また、映像やパンフレットを用いて関係団体へPRを実施し、海外からの視察者数も大幅増となりました。 実績：海外からの視察者数 176人（平成29年度 161人） ・各種健康増進事業は事故等なく計画どおり実施できました。 ・地域集団健診結果報告会において、歯周病の集団指導による健康教育を実施しました。 ・生活習慣病重症化予防の取組として、ハイリスク者への重症化予防保健指導を実施しました。 ・ぴんころ食コンテストの入賞作品レシピ集の配布を行い、普及活動を行いました。 ・小中学校で実施していた「フッ素洗口事業」の対象を保育園・幼稚園の年長児まで拡大しました。 ・食生活改善推進協議会と連携するとともに、ぴんころ運動推進事業などの食育事業を推進しました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林セラピーロードがオープンから14年目となり、木橋や木柵等が老朽化しており、利用者の安全を図るため、計画的に修繕していく必要があります。 ・保健センターが築後30年以上経過しているため、計画的に建物の修繕、改修や設備の充実を進めていく必要があります。 ・保健補導員の地区自主活動では、高齢者向けの内容が多いことから、全ての世代に関心を持ってもらえるような内容とする必要があります。 ・乳幼児のむし歯保有率が全国平均以上であることから、食生活指導や歯みがき指導など、むし歯予防を総合的に推進する必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健補導員が地域での活動に活かせるよう、引き続き充実した研修会を実施します。また、全ての地区において地区自主活動が実施できるよう地区担当保健師が支援します。 ・森林セラピーロードの老朽化した施設の修繕を計画的に実施します。 ・将来にわたり佐久市民が健康長寿でありつづけるために、映像やパンフレット等を活用し、佐久市の「健康長寿」ブランドを市民にも発信し、健康意識の啓発に努めます。 ・保健センターは必要に応じて修繕、改修を実施し、安全で利用しやすい施設環境に努めます。 ・保健補導員会や食生活改善推進協議会と協働し、市民が支え合いながら楽しく健康増進を行えるよう、地域での健康に関する各種活動を促進します。また、ウォーキングステーション、さくさく食育応援隊育成事業等、若い世代へのアプローチにつながる活動を市民とともに実施します。 ・乳幼児のむし歯予防に対する新たな取組を進め、各年代に合った歯科保健事業を継続します。 ・ぴんころ運動推進事業を実施するとともに、食生活改善推進協議会、関係各部署での連携を図り、全世代へ向けた食育事業を実施します。 											
<p>担当課</p>	<p>健康づくり推進課</p>											

施策名 「保健活動」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.19 → 3.24</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.28</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.23</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.30</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.19</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.28</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.23	平成26年	3.30	平成28年 (基準値)	3.19	平成30年	3.28
年度	満足度指数											
平成24年	3.23											
平成26年	3.30											
平成28年 (基準値)	3.19											
平成30年	3.28											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、他の施策に比べ高い値を維持しているが、平成28年は0.11下降している。 これは「どちらでもない」と回答している方が増えていることから、取組自体が日常生活の中で浸透した結果によるものと考えます。 今後も、さらなる保健活動の充実、感染症予防対策の推進、心の健康づくりの啓発に努め、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成24年程度までの上昇を見込み3.24とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診者の利便性を図るため、電子申請による申し込みを実施しました。 実績: 申請件数 283件 ・心といのちの支援相談員による相談を実施するとともに、心といのちの総合相談会を年2回実施しました。また、自殺対策推進本部及び幹事会等の会議を開催しました。 ・中学生向け自殺予防啓発事業を市内8校にて実施しました。 ・国民健康保険における特定健診の受診率向上のため、広報紙への掲載など啓発活動を行いました。 実績: 国保特定健診受診率 平成29年度41.4% (平成28年度40.3%) 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代からの生活習慣病予防や重症化予防といった保健活動が重要となるが、多くの方にその必要性が理解されていないため、周知や啓発活動に取り組む必要があります。 ・特定健診の受診率は上昇傾向にありますが、依然40%程度のため、予防意識を高めるなど受診率の向上を図る必要があります。 ・国保における特定保健指導の実施率については、平成29年度において61.9%と国の目標値60%に到達しているが、さらなる実施率の向上に努める必要があります。また、重症化予防の観点から、特定保健指導では健康状態の改善が図られる充実した指導を行っていく必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の健康は自分で守る」という高い健康意識を持っていただくため、市民に対する健康教育に取り組めます。 ・保健指導員会等の住民組織との協働により、若い世代への健康教育を充実させます。 ・佐久市自殺対策総合計画に基づき自殺対策を推進します。また、子ども・若者対策として、「児童生徒のSOSの出し方に関する教育」を引き続き実施します。 ・広報紙掲載やFMさくだいら出演等のほか、工夫した啓発活動により、特定健康診査や特定保健指導の重要性を周知し、受診率・実施率を向上させます。 											
<p>担当課</p>	<p>健康づくり推進課・国保医療課</p>											

施策名 「医療」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.33 → 3.34</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.37</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p>										
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、上昇傾向にあり高い値となっている。 引き続き地域医療体制の充実と浅間総合病院の充実を推進し、満足度の維持、向上を目指す。 目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.34とする。</p>		<table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.11</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.23</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.33</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.37</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.11	平成26年	3.23	平成28年 (基準値)	3.33	平成30年	3.37
年度	満足度指数											
平成24年	3.11											
平成26年	3.23											
平成28年 (基準値)	3.33											
平成30年	3.37											
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市保健医療等連携会議を開催し、地域医療体制について関係機関と意見交換を行いました。 ・市の出前講座「上手な医療機関へのかかり方」を1回実施し、住民への啓発を行いました。 ・休日小児科急病診療センター、平日夜間急病診療センターを年間を通して開設するとともに、佐久医師会の協力のもと、休日の在宅当番医を実施しました。 ・「へき地内山診療所」については、平成29年11月より定期的な利用者が不在となったため、予約による診療としたが、平成30年度の診療実績はなかった。利用者がいない状況を踏まえ、医師や地域住民の代表、地域の会合において地域住民から意見聴取を行いました。 ・浅間総合病院では、適正病床数再編の一環として、平成30年度を以って医療療養病床を廃止しました。 ・浅間総合病院では、平成30年7月に脊椎外来を開設し、脊椎脊髄を専門とする医師2名による診療を開始したことで、より専門的で良質な医療の提供を行いました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科医の不足による小児救急の不安定化が危惧されています。 ・「へき地内山診療所」については、定期的な利用者がいなくなったことから、廃止に向けた検討をして行く必要があります。 ・浅間総合病院では、市民が必要とする医療の提供を行うため、人材確保や経営基盤の強化に取り組む必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度をもって佐久総合病院再構築が完了し、医療機関の役割分担や連携が進むなど、地域の医療体制が整備される中、今後も、佐久市保健・医療等連携会議を開催し、地域の医療体制等について協議していきます。 ・「へき地内山診療所」については、地域住民の懇談において、診療所を廃止とすることに理解を得られたことから、再度地域住民に廃止に向けた周知等を図り、診療所の廃止を進めます。 ・浅間総合病院では、市民が必要とする良質な医療を提供するため、医師を始めとする人材確保や、経営基盤の強化とともに、医療機器や施設の計画的な更新を行います。 											
<p>担当課</p>	<p>健康づくり推進課・国保医療課・浅間総合病院</p>											

施策名 「医療保険・国民年金」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.07 → 3.10</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>2.92</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.92</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.82	平成26年	3.01	平成28年 (基準値)	3.07	平成30年	2.92
年度	満足度指数											
平成24年	2.82											
平成26年	3.01											
平成28年 (基準値)	3.07											
平成30年	2.92											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは、国民健康保険財政の健全化に向けた取組みや保険税(料)の収納率の向上、窓口等における資格等管理事務の適正化によるものと考ええる。</p> <p>高齢化が進む中で、将来にわたり安定した医療保険運営を図ることが重要となるが、今後の保険税(料)の改定などにより満足度指数は下降することが予想される。しかしながら、保険給付費の縮減に向けた取組や保険税(料)収納対策の強化、各制度の解りやすい広報などにより、満足度の現状維持を目指す。</p> <p>上記により、目標値は基準値+0.03とし、若干ではあるが上昇するように取り組むこととする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国保における各事業を適切に行うことにより、実質収支や、積立基金の面からも健全運営に努めました。 実績：実質収支+194,229千円(対前年△288,635千円)、基金残高:1,245,581千円 ※実質収支は、制度改革により県が財政主体となったことに伴い減少となっています。 ・国保税及び後期高齢者医療保険料の収納率向上のため、滞納者への折衝の強化を図りました。 収納率実績：国保 現年94.2%(対前年度0.3ポイント増) 後期 現年99.6%(対前年度0.1ポイント減) ・国民年金事務については、国からの法定受託事務として、小諸年金事務所と協力し事務を行い、市として納付特例等を広報紙に掲載し周知を図りました。 実績：保険料免除申請3,941件受領、資格異動届処理件数3,739件 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の高齢化、高度医療化の進展等により医療費は増加傾向となっています。 ・国保税の滞納額は減少傾向にあるものの、依然として多額であり、滞納整理や未納対策に取り組む必要があります。 ・国保税収入が伸び悩む中、医療費の縮減を図り、国保財政への影響を極力少なくすることが求められています。 ・後期高齢者医療制度の適切な運営のため、後期高齢者医療保険料の収納率の向上に取り組む必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険制度については、専任徴収員の設置、ジェネリック医薬品の使用促進、治療中断者への保健指導、特定健診の受診率向上のため啓発活動等に取り組めます。 ・年金制度について広報活動や相談会などを行い、無年金者の解消を図り、保険料の免除制度の周知などにより未納防止に努めます。 ・後期高齢者保険料の徴収に関し、専任徴収員による早期の個別訪問や口座振替、コンビニ収納などの利用促進を図ります。 											
<p>担当課</p>	<p>国保医療課</p>											

2 地域で支え合う社会福祉の実現

施策名 「地域福祉」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.10 → 3.15</p> <p>※H28 アンケートでは「福祉のまちづくり」と聞いた。</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.09</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.09</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.07	平成26年	3.00	平成28年 (基準値)	3.10	平成30年	3.09
年度	満足度指数											
平成24年	3.07											
平成26年	3.00											
平成28年 (基準値)	3.10											
平成30年	3.09											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成26年に平均点まで下降したが、平成28年は0.1上昇した。 今後は、第三次佐久市地域福祉計画を策定し、市民の社会福祉意識の高揚を図るとともに、社会福祉協議会や民生児童委員など関係機関との協働により、地域コミュニティを育成し、市民満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成24年から28年の4年間では0.03上昇していることから、今後5年間で0.05の上昇を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の避難時に支援が必要な方を表記した「災害時住民支え合いマップ」を作成する区に対して支援をしました。 実績：作成区数 239区 ・地域福祉の更なる推進のため、平成30年3月に策定した「地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づく施策を推進しました。 ・社会福祉協議会と連携し、福祉体験教室の実施及びボランティア活動の促進を図りました。 実績：福祉体験教室実施回数 30回(小学校 3校、中学校 4校、高校 1校) 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づく施策を計画的に実施するためには、地域住民や関係機関等との協働・連携の必要があります。 ・子どものころからのボランティア活動など、福祉の心を育てる教育を促進する必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づき、市民の社会福祉意識の高揚と、地域コミュニティの育成を図るとともに、地域住民や関係機関との協働・連携により、総合的な地域福祉ネットワークの充実を図ります。 ・「災害時住民支え合いマップ」の未作成の区に対し、作成の支援を行います。 ・社会福祉協議会と連携し、小・中・高校生等を対象とした福祉体験教室の充実を図り、福祉の心を育てる教育を推進します。 											
<p>担当課</p>	<p>福祉課</p>											

施策名 「介護・高齢者福祉」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.09 → 3.10</p> <p><small>※H28 アンケートでは「高齢者福祉・介護保険」と聞いた。</small></p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.08</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.97</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.09</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.08</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.00	平成26年	2.97	平成28年 (基準値)	3.09	平成30年	3.08
年度	満足度指数											
平成24年	3.00											
平成26年	2.97											
平成28年 (基準値)	3.09											
平成30年	3.08											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平均値前後だったものが、平成28年に0.12ポイント上昇した。これは、地域包括ケアシステムの構築、介護保険の適正な運営などにより、不満と回答した人の割合が減少したことによると考える。引き続き施策の推進に努めることにより、上昇した満足度指数の維持を目指す。目標値は、微増の3.10とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議、地域包括ケア協議会等を開催しました。 ・「認知症にやさしいネットワーク委員会」を年2回開催し、見守り体制の構築や認知症施策を推進しました。 ・17事業の介護予防事業を実施しました。 実績：後期高齢者の介護予防や健康の維持増進について指導を行う「75歳・80歳おたっしや訪問指導事業」参加者 1, 859人 一般高齢者向けの参加型事業、「はつらつ音楽サロン」「転倒骨折予防事業」「脳いきいき健康教室」等9事業参加者数 3, 315人 ・保健師や栄養士、理学療法士が地区に出向き、介護予防の講話や実践指導を行いました。 ・介護保険法に基づき、地域密着型サービス事業所の指定更新を18件、中間の実地指導を4件実施しました。 ・「権利擁護相談事業」について、広報紙やFM佐久平での周知だけでなく、地区サロンや民生児童委員会、認知症にやさしいネットワーク委員会においても現状報告をし、周知を行いました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者や高齢者世帯の増加に伴い、要支援高齢者の更なる支援が求められています。 ・認知症高齢者などの増加に伴い、見守り体制を充実していく必要があります。 ・事業の実施状況から新規介護保険認定者の状況などの推移について評価し、事業内容について検討、改善していく必要があります。 ・介護保険制度の適正な運営や生活圏域を踏まえながら、介護保険施設を計画的に整備していく必要があります。 ・介護人材不足が課題となっているため、介護職員の確保と育成に対する支援を検討していく必要があります。 ・近年では、経済的虐待や複雑化する消費者被害から高齢者を守る観点からも、成年後見制度の重要性が増していますが、制度利用が必要にもかかわらず、身寄りがいない、親族による虐待を受けているなどの理由により親族申立てが行えないなどケースが複雑化し、市長申立ての必要性が高まっています。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月の生活圏域の見直しに伴い、基幹型地域包括支援センターを中心に各地域包括支援センターの機能を強化するとともに、高齢者自身が支え手になり、介護予防を実践していける体制を整備し、医療・介護・保健・福祉の各分野の連携を図りながら、高齢者が自立した生活を過ごせるよう地域包括ケアシステムの更なる深化・推進を目指します。 ・フレイル[※]予防と重症化予防を重点課題として実施します。 ※フレイル：加齢に伴って筋力や活動量、認知機能が低下した状態 ・対象者への保健指導を進める上で、医療機関とのスムーズな連携体制の構築を目指します。 ・生活支援体制の整備として、日常生活ニーズ調査や地域ケア会議などにより、地域の高齢者支援のニーズと地域資源の状況を把握するとともに、地域における取組を総合的に支援・推進に努めます。 ・団塊の世代が75歳以上となる超高齢社会に向け、介護保険施設などの整備を推進します。 ・介護人材の確保に当たって、介護職の魅力の向上、介護人材の処遇改善、多様な人材の確保・育成などの国・県の取組について情報発信に努めるとともに、介護事業者の外国人材の受入れ体制の構築のための事業を展開し、介護従事者の負担軽減を柱とする総合的な取組を推進します。 ・全ての高齢者が自分らしく、安心して生活を送ることができるよう、高齢者の権利擁護については、今後も事業への支援を行うとともに、市民にとって、より身近で活用しやすい制度となるよう、各種関係機関と連携し、相談窓口の紹介や、制度に関する知識の普及・啓発などに努めます。 											
<p>担当課</p>	<p>高齢者福祉課</p>											

施策名 「障がい者福祉」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.06 → 3.11</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.01</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p>										
<p>目標設置根拠</p>		<table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.99</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.06</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.01</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.99	平成26年	3.01	平成28年 (基準値)	3.06	平成30年	3.01
年度	満足度指数											
平成24年	2.99											
平成26年	3.01											
平成28年 (基準値)	3.06											
平成30年	3.01											
<p>満足度指数は、平均値前後ではあるが、上昇傾向にある。 今後も関係機関との連携による適切なサービス提供やきめ細やかな支援を行うことにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成24年から28年の4年間で0.07ポイント上昇していることから、今後も年+0.01ポイントの上昇を見込み3.11とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者が自立して地域生活を送れるよう、各関係機関と連携し、利用者のニーズの把握に努め、ニーズに応じた地域生活支援事業を展開しました。 重症心身障がい児やその家族の生活支援のネットワークづくり推進の一環として、重症心身障がい児預かり事業を実施しました。 実績:「キッズケアチャレンジさく」の開催 H30.7.30～H30.8.3 参加人員延べ32名 はぐくみ相談を実施し、親子療育支援の充実を図りました。 実績:療育支援センター登録児童数 61人 障がい者の自立した日常生活や社会参加促進のため、委託事業所「障害者自立生活支援センター」において、点字講習会や料理教室などの講座・教室を開催しました。 実績:開催回数 56回 参加延人数652人 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指定特定相談支援事業所、相談支援専門員の増員及び障がい(児)者の相談支援の充実を図り、障害者総合支援法による自立支援給付事業、地域生活支援事業のサービス及びその他の障害福祉サービスを効果的に活用することにより、利用者のニーズにあった支援を実施していく必要となります。 キッズケアチャレンジさくの利用人員増加のため、事業所での開催を促していく必要があります。 早期療育の必要性から、療育支援体制の整備・専門職の確保が重要となります。 障がい者の自立した日常生活や社会参加ができるよう、委託事業所と連携し、講座数や開催会場を拡大し事業を実施していく必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関と連携し、適切なサービスの提供に努めます。 キッズケアチャレンジさくを事業所において開催できるよう、連携を図ります。 早期療育の重要性から、保育所等への訪問を実施します。 療育支援体制の充実のため、専門職の安定的な雇用を図ります。 障がい者の自立した日常生活や社会参加ができるよう、委託事業所と連携し、講座数や開催会場を拡大できるよう検討していきます。 											
<p>担当課</p>	<p>福祉課</p>											

施策名 「ひとり親家庭支援・低所得者福祉」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>2.92 → 3.00</p> <p><small>※H28 アンケートでは「母子父子福祉・低所得者福祉」と聞いた。</small></p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>2.92</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.94</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.91</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.92</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.92</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.94	平成26年	2.91	平成28年 (基準値)	2.92	平成30年	2.92
年度	満足度指数											
平成24年	2.94											
平成26年	2.91											
平成28年 (基準値)	2.92											
平成30年	2.92											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平均値より低い値で横ばい傾向にある。 今後は、関係団体と連携し、子どもの居場所づくりのための支援の実施を検討するとともに、相談支援体制、日常生活支援のさらなる充実を図るなど、ひとり親家庭への支援の充実と、生活保障・自立支援の充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平均値である3.00を目指すこととする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭等生活・自立支援事業について、母子寡婦福祉会の総会を利用して制度の周知をしました。 実績：高等職業訓練促進給付金件数 延べ45件 自立支援教育訓練給付金件数 3件 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金件数 0件 経済的理由で入院助産が受けられない妊産婦の支援を行いました。 実績：助産施設入所事業利用件数 1件 生活保護法に基づき、適正な生活保護制度の運用に努めました。 実績：年度末生活保護世帯数 352世帯 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の自立に向け支援をしていく必要があります。 児童扶養手当の対象となるひとり親家庭世帯の推移： 平成27年度1,041世帯 平成28年度1,072世帯 平成29年度963世帯 平成30年度934世帯 生活保護受給者の経済的・社会的自立及び日常生活の自立のため、引き続き自立支援プログラムに基づく支援を実施して行く必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経済的な自立に効果的な高等技能訓練促進費支給等の諸施策について広く周知を図り、家庭の状況に合った支援に取り組みます。 生活困窮者の経済的・社会的自立のため、関係機関、民生児童委員などと連携し、相談支援体制の充実を図ります。 											
<p>担当課</p>	<p>子育て支援課・福祉課</p>											

3 安心できる出産、子育て環境の整備

施策名 「少子化対策・母子保健」

施策目標の進捗状況												
<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.22 → 3.24</p> <p><small>※H28 アンケートでは「母子保健」と聞いた。</small></p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.01</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.14</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.24</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.22</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.01</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.14	平成26年	3.24	平成28年 (基準値)	3.22	平成30年	3.01
年度	満足度指数											
平成24年	3.14											
平成26年	3.24											
平成28年 (基準値)	3.22											
平成30年	3.01											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、横ばい傾向であるが、平均より高い値となっている。 今後も、結婚、妊娠、出産、育児における切れ目のない施策の充実により、満足度の維持を目指す。 目標値は、若干の上昇を見込み基準値+0.02とし、3.24とする。</p>												
<p>主な施策 の 進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産の希望の実現に向け、不妊治療又は不育症治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、その治療費の一部を助成するコウノリ支援事業を実施しました。 実績:申請組数 129組 (うち妊娠 62組、出生 37組) ・乳幼児健診の未受診者には、電話やはがき等で連絡をとることにより、高い受診率につながりました。 実績:乳幼児健診受診率 4か月健診 99.0% 10か月健診 98.2% 1歳6か月健診 98.0% 3歳児検診 98.4% ・妊産婦の方の医療費の負担軽減を図るため、プレママ医療給付事業を実施しました。 実績:実支給人数 1,110人 給付額 22,054千円 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化の進行や出生率の低下、情報過多といった母子をとりまく社会環境に変化がある中、母親の育児不安の軽減と、親子の間に安定した愛着を形成するための支援を行う必要があります。 ・不妊治療の高齢化が進んでいるため、妊娠・出産の適齢期を周知する必要があります。 ・プレママ医療費給付事業については、事業が始まったばかりのため、市内外に制度周知を図る必要があります。 											
<p>今後の 方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノリ支援事業を希望する市民が申請できるよう、引き続き制度の周知に取り組みます。 ・母子の健全な成長を目的とした指導や助言を実施するために、健診や教室等で育児不安を抱える母親の早期発見と、適切な指導、助言を行えるよう体制を強化します。 ・乳幼児健診や教室・相談事業に関わるスタッフのスキルを向上させるための研修等を実施します。 ・プレママ医療費給付事業については、母子手帳交付時に、福祉医療費申請を勧奨するなど、対象者に分かりやすく制度周知をするとともに、広報媒体、保健センターや医療機関などにパンフレットを配布するなど対象でない方にも広く制度の周知を図ります。 											
<p>担当課</p>	<p>健康づくり推進課・国保医療課</p>											

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.20 → 目標値 (H33) 3.25</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>3.16</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.20</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.13</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.20</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.16</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.20	平成26年	3.13	平成28年 (基準値)	3.20	平成30年	3.16
年度	満足度指数											
平成24年	3.20											
平成26年	3.13											
平成28年 (基準値)	3.20											
平成30年	3.16											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成26年に下降が見られたが概ね横ばい傾向にある。 今後も多様化するニーズに対応し、子育て支援事業、保育サービス、児童館運営などの充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、年間+0.01を見込み3.25とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様化するニーズに対応するため、子育てサロンやつどいの広場などの子育て支援事業を推進しました。 実績: 子育てサロン開催回数 延べ291回(市内19箇所)、利用者数 延べ6,327人 つどいの広場開催回数 延べ913回(市内5箇所)、利用者数 延べ26,808人 全国で児童虐待による深刻なケースが増える中、市では要保護児童の早期発見及びその適切な保護を図るとともに、県佐久児童相談所や佐久警察署など関係機関との連携を一層強化するため、佐久市要保護児童対策地域協議会を設置し関係機関の代表者による代表者会議を開催するなど情報共有を図りました。 乳児保育、延長保育、休日保育、病児・病後児保育などニーズに応じた保育を実施しました。 猛暑時における園児の健康を守るため、公立保育園の保育室への冷房設備の導入を検討し、設計に着手しました。また、私立保育園の保育室への冷房設備設置事業に対する補助制度を制定しました(令和元年度より3年間の補助)。 臼田地区の小学校統合に併せ児童館の配置について、既存児童館の活用を図っていくことを方針としました。 子ども未来館においては、常設科学展示リニューアルに向けた実施設計を行いました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 少子化により就学前児童の人口は減少しているものの、未満児保育利用者については急増しており対応が求められています。 今後実施が予定されている教育・保育の無償化や、働き方改革など社会情勢の変化により、一層の未満児入所の増加や保育ニーズの多様化とそれに起因する保育士不足に対応する必要があります。 子ども未来館は開館から18年が経過していることから、施設の空調設備や照明設備等についても計画的に更新していく必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンやつどいの広場など子育て環境・支援の充実を図ります。 未満児保育利用者の増加といった保育サービスにおける課題を整理し、短期・中期的な対応策について、公立保育園だけでなく私立保育園や幼稚園を含め検討します。 令和元年度中に公立保育園の全ての保育室に冷房設備を整備します。 児童が自主的に参加し、自由に遊び、安全に過ごすことのできる放課後や週末等の居場所づくりとしての児童館運営を図ります。また、地域との交流を大切にした事業の計画や地域ボランティアを積極的に受け入れるなど事業の充実を図ります。 子ども未来館のリニューアルは開館以来初めての取組となることから、科学展示のみならず施設全体を含め計画的・効果的に取り組みます。 											
<p>担当課</p>	<p>子育て支援課</p>											